

「農業の担い手確保・酪農ヘルパー等の人材確保に向けて」シンポジウム アンケート結果

【概要】

学生は、高校1年生、2年生が大半であったため、卒業後の進路は「未定」との回答が多かったものの、農業への就農、後継者の希望も一定数有り。

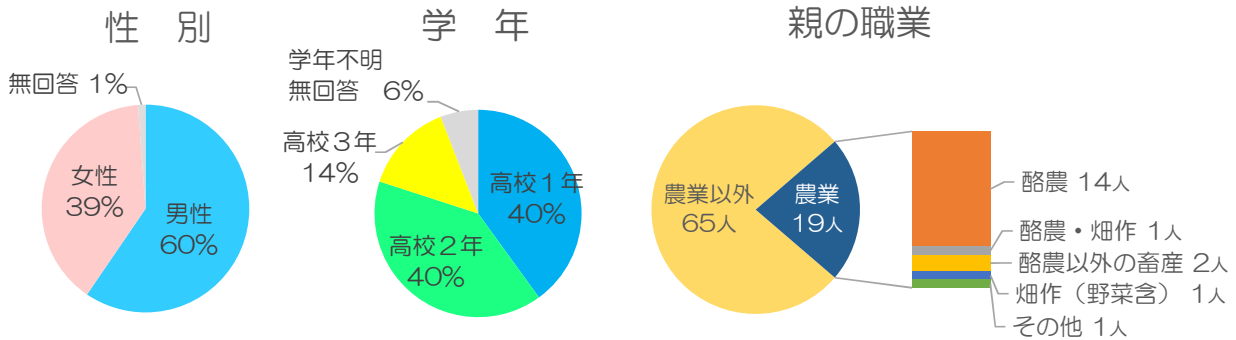
子供を持つ親御さんは、子供が農業に就くことについて、大多数が「子供に任せる」と回答。

本シンポジウムへ参加した感想として、約8割の学生が「職業として酪農の魅力を再認識した」「酪農という職業に興味（魅力）を持った」と回答。

このことから、学生に対し職業としての農業（関連業含む）の魅力などを伝えることが、今後の農業担い手確保の一助となると思われる。

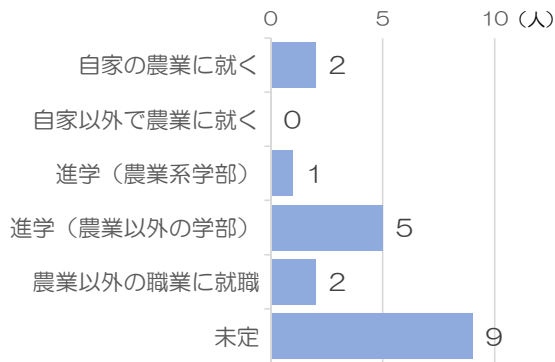
参加者からも、同様の意見があった。

学 生 回答者数：84

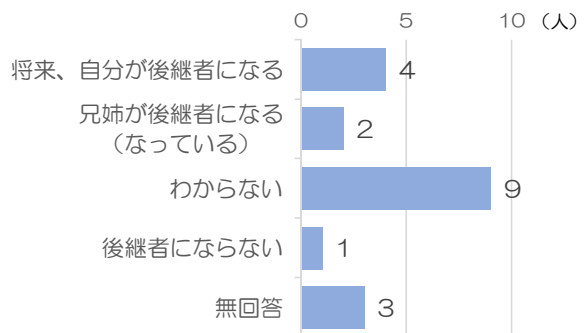


◎ 親の職業が「農業」の方にお聞きます

① 卒業後の進路予定

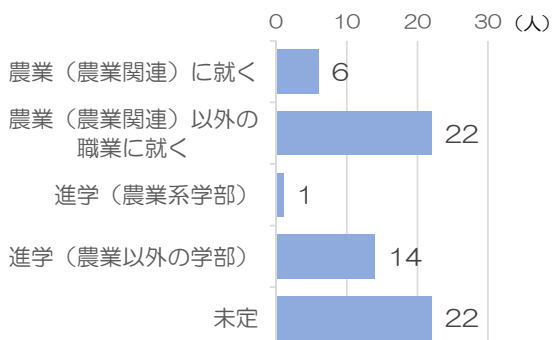


② 自家の後継予定

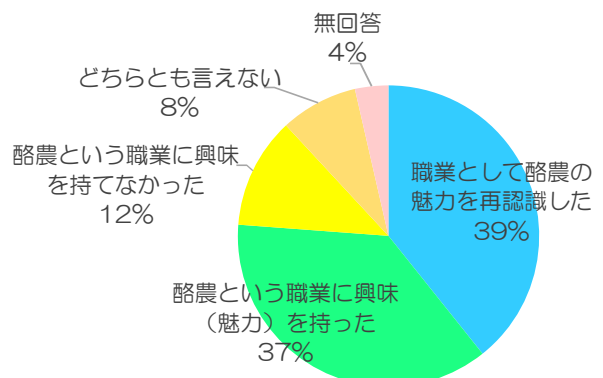


◎ 親の職業が「農業以外」・「その他」の方にお聞きます

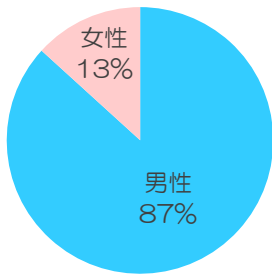
学校卒業後の進路予定



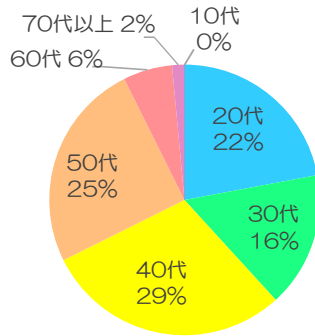
◎ 今回のシンポジウムについて



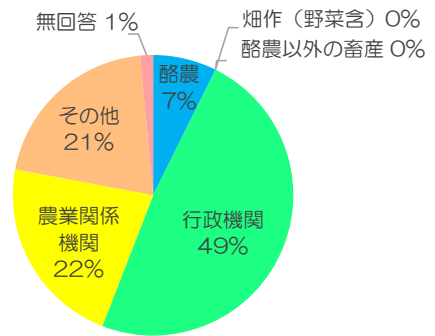
性別



年齢

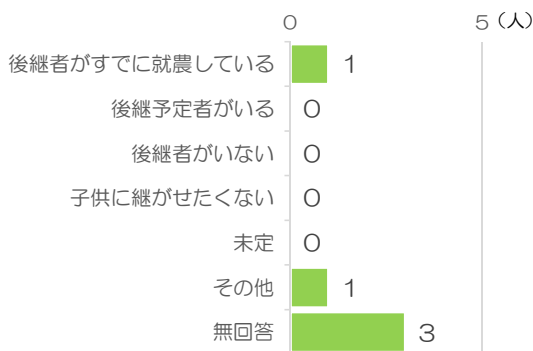


職業

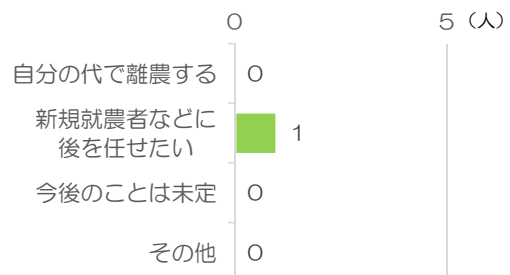


◎ 職業が農業の方にお聞きします

● 後継者について

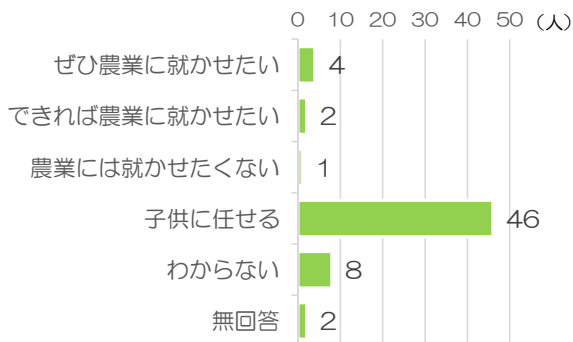


● 「後継者がいない」「子供に継がせたくない」と答えた方にお聞きします



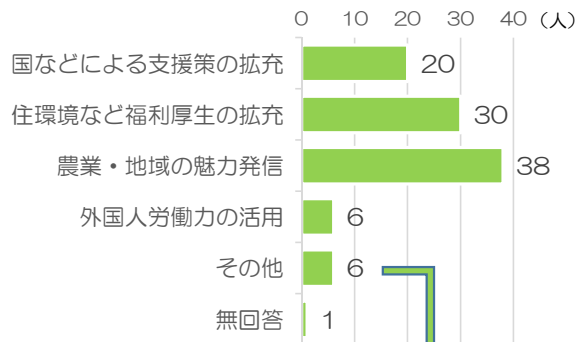
※ 「後継者について」無回答の方が回答

◎ 職業が農業以外の方にお聞きします
子供が農業に就くことについて

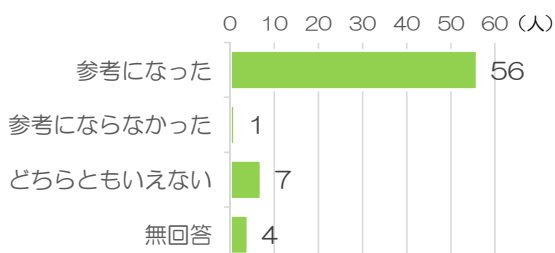


◎ 農業分野に人を呼び込むためにはどのような方策が効果的だと思いますか

※ 複数回答あり



◎ 今回のシンポジウムについて



- ・初期投資の負担軽減。一生の仕事として見た時に将来に不安（TPP、日EU・EPA等）があるため参入に二の足をふむと考えられる。その不安を払拭させられる将来の保証
- ・首都圏住民へのPR
- ・多様な人材（業種）とのマッチング、業務細分化。主婦層をターゲットにした搾乳、建設業をターゲットにした草作り
- ・地元住民子弟に対する酪農意義や魅力発信と道内外の方に対する情報発信の取り組み併用。
- ・給料の改善、販売経路の自由化（JAだけでなく）、自然災害による損失の保障、初期投資の軽減、精神面でのサポート（人間関係、将来の不安）
- ・酪農より穀物自給率を上げることが先決だと考えます。幼少期からの農業教育（価値観の教育）が不可欠。建て前やその場しのぎでは解決できない。

シンポジウムに参加した感想 (抜粋)

学生の方から

- ・ 酪農が、自分が思っていたよりも発展していたので勉強になった。
- ・ 今回、酪農にたずさわる色々な仕事の大変なところや楽しいところなど色々知れてよかったです。
- ・ 別海町の良いところを改めて実感しました。学校では、牛たちに感謝しながら美味しい製品を作っていきたい。中標津農高には、別海から通っているの両方に関わりながら生活していきたい。
- ・ 農業をする予定はありませんが、今回のシンポジウムで前よりも魅力を感じることができました。
- ・ 酪農に携わる人達の話聞いて、母さん父さんも同じ事をしてると思うとすごいなと思いました。
- ・ 本当にいろんな人が協力し合っているから成り立つ職業なんだと思った。
- ・ 私は家が酪農家ですが、将来的には農業系に就こうという気持ちは正直ありません。ですが、私は動物が大好きなので、皆さんのお話を聞いて、命を育てることはとても大変だけど、それ以上にとってもすてきなことなんだということを再認識できました。仕事を手伝うこともあるので、皆さんの話に共感できることもありました。ありがとうございました。
- ・ 細かく説明される機会はあまりないので、いい機会だった。
- ・ 今の酪農はどうなっているか、どうしなければならぬか少しだと思いが理解できました。
- ・ 今回のシンポジウムで、酪農は本当に大変なんだなと思いました。でも、その分つらさやたのしさやうれしさがあっていいと思いました。
- ・ 酪農をやろうとは思いませんが、必要な仕事だと思いました。
- ・ 酪農家、ヘルパー、人工授精師の方の話聞いて、将来そういう職につくのも面白そうと思った。
- ・ 今回のシンポジウムに参加し、酪農の魅力再認識することができました。自分はヘルパーをするつもりなので、とてもためになりました。森さんの話がとても共感を持ちました。
- ・ 話してくれた人たちが、あつくかたっていて自分たちのやっている仕事を真剣に頑張っていることがわかった。
- ・ 酪農ヘルパーの大変なことや、やりがいなどを知ることができた。農家の担い手が減っていて困まっているという現状を聞いた。ヘルパーが増えたらいいなと思う。
- ・ 新規就農者が増えていることがわかった。
- ・ 普段聞くことのない言葉を聞き、すごくためになった。少しだけ興味や魅力を持つことができた。
- ・ あまり詳しい内容は理解できなかったが、皆さん真剣に酪農について考えて、なるべく分かりやすく説明してくれていた。
- ・ 少し話がわかりずらかった。酪農の人口が少しずつ減っていくことに少し不安を感じた。
- ・ 難しかった。高校生にわかりやすい話をしてほしい。

一般の方から

- ・ 若い御三人の話聞いて、就農した頃のキラキラした気持ちをなつかしく思い出しました。高校生のしっかりした姿勢が印象的でした。(50代、女性、酪農)
- ・ 農業に関わりのある高校生が何を感じ、仕事として農業と関わる人がどう伝えるか等、農業について見つめ直す機会として、よいきっかけになるものではないかと感じた。(20代、男性、行政機関)
- ・ 事例発表会では、それぞれの思いや夢を聞き、参考にしたいと思う。酪農の仕事につきたいても、どう発信していいかわからない人がたくさんいるし、条件も含め広げてほしい(情報)。(40代、女性、酪農)
- ・ 高校生に対し教えるシンポジウム、いいですね。(50代、男性、酪農)
- ・ 同世代の女性から魅力を発信しており、学生にも酪農の魅力が届いたのではないか。(50代、男性、行政機関)
- ・ 事例発表には感動(涙がでた)、たいへん良かった。もっと宣伝周知を!(60代、男性、行政機関)
- ・ 現場で働く人たちの生の声を聞くことができ、とても参考になりました。後継者不足は大きな課題なので、このような活動はとても大切だと改めて感じました。(20代、男性、高校教諭)
- ・ 酪農に関する様々な想いを聞くことができ刺激を受けました。お招きいただきありがとうございました。(30代、男性、高校教諭)
- ・ 学生とのセッションがよかった。もう少し時間がとれると良かったですね。(50代、女性、料理人)(40代、男性、行政機関)
- ・ 学生の農業に対する考え方も聞きたかった。(50代、男性、行政機関)
- ・ 現職の方がどういう人材を求めているかを示すべき。(20代、男性、行政機関)
- ・ 今度は、雇用、働き方、使い方をテーマにお願いしたいです。(50代、女性、農業関係機関)